

美浦村商工会と むらづくり懇談会で意見交換！！



本村議会で初めての試みとして一般会議を開催

本村議会初の一般会議を開催！

私たち村議会議員は、議会改革のメインテーマでもある「住民参加による開かれた議会」を実現するための第一歩として、美浦村商工会と「むらづくり」について意見交換を行いました。

一般会議とは

私たち村議会議員と村内で活動している各種団体の皆さんなどが、村政に関する事、議会活動への意見・要望及び提言などについて、幅広く、自由に意見交換を行う場です。

- ② もし物産館建設がされるとしたらどのような協力ができるか
- ③ 後継者不足問題について
- ④ その他

一般会議では、活発な意見交換が行われました。

● 主な意見・要望

- ① まちおこしのブランド化の推進やPRについて
- ・ 美浦に住んでいて、「美浦はいいとこだ」とPRできるような、良いものを作ってほしい。
- ・ 美浦で有名な食べ物（例えばB級グルメ）を考え推進し、ブランド化していく。

日時 平成25年2月6日(水)

午後2時～午後4時
45分

場所 美浦村役場3階大会
議室

出席者 美浦村商工会20人
村議会議員13人

協議内容

- ① まちおこしのブランド化の推進やPRについて

- ・ 観光的な開発ができたらしい。(葉師如来像、霞ヶ浦魚釣りなど安中地区をメインに)。
- ・ 農・商・工、行政(県・村)が連携されなければ、事業にしてもPRにしても、うまくいかない。
- ②もし物産館建設がされるとしたらどのような協力ができるか
- ・ 物産館進捗状況が見えない中、協力と言われても、架空の話に、「協力してくれ」では、対応ができない。
- ・ 地産地消のためには、生産者側の安定した供給量が必要になる。商工会のみで生産量などを確保するのは、非常に難しい。
- ・ 行政で建設し、運営を法人化していったほうが良い。物産館建設については、商工会は、反対ではない。
- ・ 建物の設備にこだわらず、村の全部の人が利用して、生産者、消費者、行政の人、いろいろな人がうまく利用することが、第一前提。
- ・ みんなで協力して、物産館を建設すれば、その中で、地産地消などの諸課題を解決できるはず。商工会は協力します。
- ③後継者不足問題について
- ・ 若い人が住む場所の提供として村営住宅の建設を。
- ・ 出合いの場の形式検討を。パーティー形式だけではなく、体験形式でもいいのでは(料理教室、もちつき、ゴルフなど)。
- ④その他
- ・ マスタープランの実現、人口増の実現をできるよう願う。

● 議会からの総意(まとめ)
議会としては、今後、地域の特色や立地条件、歴史的背景を生かし、関係団体の協力、組織化など独自性のある、むらづくり施策の計画・実施を執行機関に強く要望します。



議会地方自治研究会で意見を集約

● 一般会議の提言・要望書
を中島村長に提出

この一般会議では、様々な意見が出されました。意見・要望を集約し、3月18日に「むらづくりに関する提言・要望」を中島村長に提出しました。

これからも本村議会は、村内の団体と随時、一般会議を開催していきたいと考えています。一般会議の開催を希望される場合は、日程の調整や会場の都合などがありますので、事前に議会事務局までご連絡ください。

一般会議を通じ、村民の皆さんの声をお聴きし、その声を村政に反映させていきたいと考えています。



中島村長に提言・要望書を提出